

プログラム実習における文法誤りについて

松坂知行*・木村昭穂**・鈴木恵美子***

Report on errors in computer programming practice of students

Tomoyuki MATSUZAKA, Akio KIMURA and Emiko SUZUKI

Abstract

Today, computer literacy is required for all students regardless of what they have majored in. This is being to be a basic subject such as mathematics, languages and so on. In this institute, basic computer course started as one of the curricula of liberal art course two years ago. This paper discusses the test results which were conducted to examine student's errors in making computer programs, and describes the way to improve our present educational contents and methods.

1. まえがき

本格的な情報化時代を迎えて電子計算機教育は一部の学科の専門教科ではなく、文系、理系を問わず一般教育科目として必要になってきている。大学のカリキュラムでも一般教育科目の中に計算機教育を位置づける大学が多くなってきており、また施行結果を見ても一般教育課程の中に新鮮味を与え、学生の興味を引き出しているようである。

本学では昭和58年度に計算機教育に関する専門委員会が設置され、電子計算機に関する基礎的教科を一般教育科目として開講することが望ましいとの結論に達し、一年間の審議を経て基礎電子計算機演習が全学科の共通科目として、昭和59年度より開始されることになった。昭和60年度より具体的な試行が始まったが計算機教育の内容、方法、教育目標の設定、ハードウェア等の点でいろいろ考慮すべき点がかうかび上

り、今後の新たな展開を計る上で問題点をまとめる必要が生じ本稿を起草した。

2年間の試行ではBASIC言語とその応用を主体にしたが学生の適性の差による理解の度合いのバラツキが目立った。すなわち一方で直ちに理解し次のステップに進む学生がいるかと思うと、一方では簡単な命令が最後まで理解できない学生もいることである。

本稿ではいろいろなタイプの課題を学生に提示し、その評価を通してどのような内容が学生に理解され易いかまた理解され難いか、またどうすれば理解してもらえるかを検討し、さらにあるべき教育方法を検討した。

2. 教育内容

一般教育課程におけるコンピュータ教育の必要性、重要性の議論はかなり一般化されているにもかかわらず、現実面では何をどう教えたらいいか講義の内容についていまだ確立されておらず、担当する各教員の専攻や見解に依存することが多い。現在一般的にコンピュータに関する基礎教育で行われている講義内容としては

昭和61年10月30日受理

* 電気工学科教授（計算機室長兼務）

** 計算機室助手（電気工学科兼務）

*** 計算機室職員